

緑と木漏れ陽の中に行く

◇ 山行日 5月15日(火)

◇ 行程 新松戸 6:14—高麗駅 8:00—多主峯山登山口 8:20—多主峯山頂 8:50
—天覧山頂 9:30—高麗峠—巾着田—日和田山頂 11:55—高麗駅 13:30

◇ 費用 2,000 円

今年の暑さでは、5月中旬とはいえもう若葉どころか、緑はすっかり濃くなってしまった。しかし、降り注ぐ太陽の木漏れ陽をあび、緑の木々の中を歩く心地よさは格別である。今日は、高麗駅を基点とした低山3つを結ぶコースであるが、途中沢沿いを歩いたり、田の畦道をぬけたり、また岩登りゲレンデを通過したりと変化に富んだコースである。

まずは高麗駅を南に坂道の住宅街をぬけて多主峯山に向かった。よく整備された登山道で登山口から30分ほどで山頂に着く。山頂からの眺めはよく、緑の山々の奥に都内の高層ビルやうっすらと富士山の姿も見えた。登山道に見られる花はもうあまりないが、小アジサイはあちらこちらにかわいい花をつけていた。2つめの天覧山も40分で着き、こちらも展望がよい。ここからは一旦、街に下り、線路を越えて北側に向かうコースとなる。晴天で気温が高いためアスファルトの道路を歩くのがやや暑かったが、やがて涼しげに水が流れる川沿いの巾着田にでる。今は緑一色だが、秋には真っ赤に染まるであろう。

そして、最後の目的地、日和田山に向かう。木陰を登るのは気持ちいい。宮田さんが岩登りゲレンデへ通うため登り慣れた登山道を進むと間もなく、聳え立つ岩山、カラフルに登山者が岩肌にとりついて見えてくる。平日でもかなりのパーティーが岩登りを楽しんでいる。自分も数年前、練習にきたことがあるが男坂ではかなりの恐怖感と戦った。周りから見ていると楽そうに見えるのだが。11時55分、本日の最終目的地「日和田山山頂」に着いた。皆さん、軽快に登り、13時20分には高麗駅に着いたので、その後秋津で乾いたのどをゆっくり潤し、反省会をして帰路につく。

2班の班山行を初めて担当者として務めさせていただいた。とはいっても、ほとんど宮田様に頼りっぱなしで、リーダーとしては不甲斐ないばかりであった。しかし、今回の反省点を生かし、必ず次回につなげさせていただきます！

宮田様 参加者の皆様、色々ご指導・ご協力ありがとうございました。

